

新“図書館報名”について



東京学芸大学附属図書館報は本号からタイトルが変わりました。

昨年夏に募集をし、利用者の中野祐輔さん応募のこのタイトル『ライぶらり』が採用されました。

「図書館(ライブラリー)にぶらりと立ち寄るの意味。みんなが気軽に集まる場所であることから、ついでに図書館情報もぶらりと手にしてください、という親しみの延長で館報も提供するというイメージ。「ライ」には「来」の意味も含まれている。」ということで名づけていただきました。

本学のバッジがライオンの文化的意義を象徴したものであることから、当館ではこの「ライ」に「ライオンのライ」も絡めてみました。

表紙・キャラクターデザインは芸術・スポーツ科学系美術・書道講座の正木賢一助教授によるものです。新しくなった図書館報をどうぞよろしくお祈りします。

〈前頁からのつづき〉

2005.3

真山茂樹(広域自然科学講座)

「Proceedings of the Fourteenth International Diatom Symposium : Tokyo, Japan, September 2-8, September 1996」edited for the International Society for Diatom Research by Shigeki Mayama, Masahiko Idei and Itaru Koizumi, Koeltz Scientific Books, 1999

大森直樹(教育実践研究支援センター)

「まちづくりと総合学習」東京学芸大学附属教育実践総合センター編, アドバンテージサーバー, 2001.1

小林正幸(教育実践研究支援センター)

「教師・親のための子ども相談機関利用ガイド : もうひとりで悩まないで! 新版」小林正幸, 嶋崎政男編, ぎょうせい, 2005.11

芸術・スポーツ科学系

藤枝賢晴(健康・スポーツ科学講座)

「スポーツプログラマー養成講習会テキスト(専門科目)」日本体育施設協会編, 日本体育施設協会, 2004.6

「不登校はなぜ起きるのか : 問題解決と予防の手がかり(リベラルアーツ21:No.1)」小林正幸著, 東京学芸大学出版会, 2005.11

「先生のためのやさしいソーシャルスキル教育」小林正幸著, ほんの森出版, 2005.12

松田恵示(健康・スポーツ科学講座)

「おもちゃと遊びのリアル: 「おもちゃ王国」の現象学」松田恵示著, 世界思想社, 2003.7
「恋のダイアリー」ちびミックス, おもちゃ王国, 2003.11

和田正人(教育実践研究支援センター)

「テレビ制作者からの発信 1~5」タキオン, 1987-1988

施設・センター

池田一成(教育実践研究支援センター)

「LD・ADHD・高機能自閉症の子どもの指導ガイド」国立特殊教育総合研究所[編], 東洋館出版社,

佐藤郡衛(国際教育センター)

「ひとを分けるものつなぐもの: 異文化間教育からの挑戦」佐藤郡衛, 吉谷武志編, ナカニシヤ出版, 2005.3



図書館ホームページおすすめコンテンツ

■ 共通科目のための読書案内

共通科目のための読書案内は、学部学生全員が履修する共通科目の担当教員による読書案内です。各科目ごとに、授業に役立つ本の情報を紹介しています。ここで紹介されている本は基本的に附属図書館で所蔵していますので、ぜひご利用ください。

[編集発行] 東京学芸大学附属図書館

〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1 TEL 042-329-7223 / FAX 042-329-7226

●URL <http://library.u-gakugei.ac.jp/> ●携帯版URL <http://library.u-gakugei.ac.jp/i/>



東京学芸大学附属図書館報

ライぶらり

TOKYO GAKUGEI UNIVERSITY LIBRARY NEWS

“ぶらり”と図書館に来てみませんか 細江文利

新入生の皆さん東京学芸大学への入学おめでとうございます。「林は武蔵野の特色とあってよい…」と、国木田独歩が描いた武蔵野の面影を色濃く残している本学のキャンパスは、満開の桜、柳の新緑、櫻の青葉、もみじとイチョウの紅葉と、四季折々の風情がそのとおり見事です。そうした美しい自然環境の中央に附属図書館が位置しています。親しくなった仲間と一緒に、“ぶらり”と図書館を訪れてみませんか。

教員養成の総合大学としての本学は、幼稚園・小学校・中学校・高等学校、特別ニーズ教育に関する諸学校で教育界をリードする数多くの優れた人材を全国に送り出しているとともに、さらに近年では、生涯学習社会における多様な教育活動に参画し幅広い分野で活躍する、広義の「教育者」を輩出してきています。図書館では、こうした教育者養成を支援するために、特に教育実践に関する豊富な資料の収集に努力しています。現代のものはもちろんのこと、明治初期の往来物(今でいう教科書)をはじめ、江戸・明治期における生活の遊びの中での教育資料「絵双六」のコレクションなど、楽しいものを数多く所蔵しています。「絵双六」は一見に値します。

〈次頁へつづく〉

[特集] 新入生

- ◆ “ぶらり”と図書館に来てみませんか 1~2
- ◆ 本学卒業生から新入生へのメッセージ
(平井信行/宮下亮子) 2~3
- ◆ 新入生のための「図書館の達人への道」すぐろく 4~5
- ◆ 自著を語る(山田昌弘/奥住秀之) 6
- ◆ 本学教員寄贈資料紹介 7
- ◆ 新“図書館報名”について 8
- ◆ 図書館ホームページおすすめコンテンツ
「共通科目のための読書案内」 8



いうまでもなく大学附属図書館の役割は、これまでの中学校や高等学校の図書室以上に、学生の皆さんの学習・研究活動を支援することです。大学図書館には、したがって図書だけでなく、雑誌、新聞、CD、DVD、電子ジャーナル、データベースなど実に様々な資料が準備され、皆さんの利用を待っています。授業の予復習に、自ら深めて学習するためにこれらの資料を活用していただきたいものです。現在、図書だけでも90万冊を超えています。必要に応じて、自分の調べたいことにぴったりの資料をいかに迅速に効率的に見いだすかが、鍵になります。そのために大学図書館は様々なサービスを用意しています。図書館に来て遠慮無く、図書館員に声をかけて分からないことを聞いて下さい。きっと皆さんの学習を援助してくれるはずです。また図書館では、授業関連の情報がいつでも入手できる授業支援サービス(ESR)を実施しています。このシステムを利用することにより予習・復習・レポート提出等をいつでも・どこでも効率的に行うことができますようになります。

まずは図書館のホームページを開いてください。図書館の利用法、資料の探し方、電子ジャーナルやデータベースの使い方など、図書館に関する情報が一杯詰まっています。大学図書館を思いっきり使いこなし、学芸大学のフラッグシップになってください。

(ほそえ・ふみとし 附属図書館長)

e s s a y ● 本学卒業生から 新入生へのメッセージ ●

新入生のみなさんへ

● 平井信行

ご入学おめでとうございます。ぼくはこの大学のA類社会科で気象学と環境を学びました。部活はソフトボールで、よく遊び、また大好きな気象学と環境を思いっきり学ぶことのできる充実した4年間でした。先生ではなく気象予報士になりましたが、自分の進路を決めるにあたってはずいぶん迷いました。好きなことを思いっきりやりたい、しかし好きなことを一生の仕事にできるのだろうか。

ぼくが最初に気象予報士になりたいと思ったのは中

学3年のときでした。熊本は八代の出身ですが、そこは梅雨時に東京の約3倍もの雨が激しく降り、八代海(不知火海)の高潮の危険などもあって、NHKの気象番組をよく見るようになったのがきっかけです。高校は理科系のクラスで、某大学の理学部地球科学科を受験して合格しましたが、迷ったすえに辞退しました。好きな気象を本当に一生の仕事にしてよいのか、それから1年かけて考えました。結論は出ませんでした。友人たちとの交流を通じて教師という人間味あふれる仕事に興



本学教員寄贈資料紹介

平成17年4月から18年2月に本学教員より寄贈を受けた資料を紹介いたします。(敬称略、所属学系、寄贈者五十音順)

総合教育科学系

浅沼 茂(教育学講座)
「日本カリキュラム学会第16回大会発表要旨集録」,2005

上野一彦(教育心理学講座)
「特別支援教育スタートマニュアル」,第一法規,2005.2
「軽度発達障害の心理アセスメント: WISC-IIIの上手な利用と事例」上野一彦, 海津亜希子, 服部美佳子編, 日本文化科学社, 2005.1
「WISC-IIIアセスメント事例集: 理論と実際」藤田和弘 [ほか] 編著, 日本文化科学社, 2005.4
「小・中学校におけるLD,ADHD,高機能自閉症の子どもへの教育支援(教職研修総合特集, 読本シリーズNo.164)」上野一彦編集, 教育開発研究所, 2004.11

岡 典子(特別支援科学講座)
「視覚障害者の自立と音楽: アメリカ盲学校音楽教育成立史」岡典子著, 風間書房, 2004.3

奥住秀之(特別支援科学講座)
「自閉症スペクトラムの発達と理解」別府哲, 奥住秀之, 小淵隆司著, 全国障害者問題研究会出版部, 2005.8

陣内靖彦(教育学講座)
「東京師範学校生活史研究」陣内靖彦著, 東京学芸大学出版会, 2005.7
「学校と社会」岩内亮一, 陣内靖彦編著, 学文社, 2005.6

福井里江(教育心理学講座)
「プログラム評価の理論と方法: システマティックな対人サービス・政策評価の実践ガイド」ピーター・H・ロッシ, マーク・W・リブセイ, ハワード・E・フリーマン著/大島巖 [ほか] 監訳, 日本評論社, 2005.10

人文社会科学系

石木隆治(人文科学講座)
「博物学者ビュフォン」ビュール・ガスカール [著]/石木隆治訳, 白水社, 1991.6

河添房江(日本語・日本文学研究講座)
「源氏物語時空論」河添房江著, 東京大学出版会, 2005.12

近藤弘幸(外国語・外国文化研究講座)
「シェイクスピアディレクターズ・カット: 演出家が斬る劇世界」マイケル・ボグダノフ著/近藤弘幸訳, 研究社, 2005.12

高橋忠彦, 高橋久子(日本語・日本文学研究講座)
「日本の古辞書: 序文・跋文を読む」高橋忠彦, 高橋久子共著, 大修館書店, 2006.1

根本正義(日本語・日本文学研究講座)
「占領下の文壇作家と児童文学[本編]」根本正義著, 高文堂出版社, 2005

「子どもに「根っこ」と「翼」を与える言葉(詩と童謡の校長歳時記:2)」根本正義著, らくだ出版, 2002.9
「占領下の文壇作家と児童文学 索引」根本正義著, 高文堂出版社, 2005

牧野文夫(社会科学講座)
「転型時期中国的工業化と労働市場: 友自日本の研究」南亮進, 牧野文夫編, 中国水利電出版社, 2005.1
「現代経済学の展望と課題: 近畿大学大学院経済学研究科設立十周年記念論集」近畿大学大学院経済学研究科設立十周年記念集編集委員会編集, 近畿大学大学院経済学研究科, 2001.3
「経済発展と体制移行(シリーズ現代中国経済:1)」中兼和津次著, 名古屋大学出版会, 2002.10
「労働市場の地殻変動(シリーズ現代中国経済:3)」丸川知雄著, 名古屋大学出版会, 2002.11
「中国のエネルギー産業の地域的分析: 山西省の石炭産業を中心に」時臨雲, 張宏武者, 溪水社, 2005.3
「台湾漢民族のネットワーク構築の原理: 台湾の都市人類学的研究」上水流久彦著, 溪水社, 2005.1
「日本と中国の実証研究による貨幣均衡新説」郭福敏著, 国際代行有限会社出版部, 2002.3

村松泰子(社会科学講座)
「女性とメディア(ムーブ叢書, ジェンダー白書:3)」北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」編, 明石書店, 2005.3

山田昌弘(社会科学講座)
「迷走する家族: 戦後家族モデルの形成と解体」山田昌弘著, 有斐閣, 2005.12

李修京(外国語・外国文化研究講座)
「フロンティアの文学: 雑誌『種蒔く人』の再検討」『種蒔く人』『文芸戦線』を読む会編, 論創社, 2005.3
「帝国の狭間に生きた日韓文学者」李修京著, 緑蔭書房, 2005.2
「日帝の朝鮮統治と言論」朴仁植著, 弘益企画出版社, 2004

自然科学系

坂口謙一(技術・情報科学講座)
「ためしてわかる通信とネットワーク: 電話からインターネットまで 改訂版(コンピュータネットワークでひらくものづくりの技術: 上巻)」技術教育研究会編/田中喜美, 大谷良光監修, 技術教育研究会テキスト部, 2003.5
「自動化からはじめるコンピュータ学習: Windows版オートマ君で自動機械の世界を歩こう 全面改訂(コンピュータネットワークでひらくものづくりの技術: 下巻)」技術教育研究会編/田中喜美, 大谷良光監修, 技術教育研究会テキスト部, 2000.10
「すべての子ども・青年に技術教育を: 小・中・高校を一貫した技術教育のための教育課程試案: すべての子ども・青年を持続的発展可能な社会の主人公に(技術教育研究:別冊1号)」, 技術教育研究会, 1995.8

〈次頁へつづく〉

『迷走する家族：戦後家族モデルの形成と解体』

山田 昌弘

山田昌弘著
有斐閣
2005年12月

図書館1F開架
367.3/YAM

本を書いた以上、多くの人に「自発的に」読んで貰いたいというのが、著者の願いである。現実には、何万点の本が出版され、書店や図書館に置いて貰うことでさえ大変な時代になっている。だから、著者や編集者は、タイトルに苦心する。内容がない本はタイトルがよくても売れないが、内容がよくてもタイトルにインパクトがなければ本の山に埋もれてしまう。

そういう意味で、私はタイトルに恵まれてきたと思う。『パラサイト・シングル』の時代は、編集者がつけたものだった。『希望格差社会』は、直前まで「multidown社会」「崩れゆく日本社会」「ホープレス社会」などの案を出しては没になり、最後の最後にひねり出したものである。

今回は、戦後の確とした家族モデル（豊かさをめざす）が崩れ、理想的な家族を求めて右往左往している現代日本人の姿を描いたものである。まずrunawayという言葉が浮かび、「迷わず」迷走と訳した。手にとって見ようかなという気が起きてくれれば幸いである。

(やまだ・まさひろ 人文社会科学系教授)



自著を語る



別府哲, 奥住秀之, 小淵隆司著
全国障害者問題研究会出版部
2005年8月

図書館1F開架
378/BEP

奥住 秀之

『自閉症スペクトラムの発達と理解』

本書のキーワード、自閉症。社会性、コミュニケーション、イメージーションという三つの障害を示す状態。以前はしつけや養育環境と誤解されていたが、その原因はまぎれもなく中枢神経系の機能障害による。自分は通常教育の教師を目指す、だから自閉症など知らなくていい。そう思っている人は少なくない。でもそれはちがう。自閉症の中には知的障害のある子もいればない子もいる。ない子は通常教育を受けている、通常学級で学んでいる。国の調査によると0.8%もの通常学級の中の自閉症児。彼らには飛び切りの個性がある。得意な活動には進んで取り組み、力を発揮する。ところが、独特の認知特性ゆえ、通常の学び方でなかなか前進しない場面もある。周囲が、教師が、その違いを認められないと、彼らは通常学級の中で厳しい状態に陥っていく。特別支援教育。子どもの見方と支援のあり方のパラダイム転換が今まさになされようとしている。

(おくずみ・ひでゆき 総合教育科学系助教授)

味がわき、気候ゼミもある東京学芸大学で学ぶことにしたのです。3年生になって気候ゼミが始まると、もともと好きなことですから、もうとことん徹底的に勉強してみようという気になりました。

最初の就職先は日本気象協会でした。下積みといってもよい地味な仕事でしたが、その4年目に第1回気象予報士試験に合格したことが大きな転機になりました。ぼくはその1年後にNHKのオーディションに合格し、現在にいたっています。テレビは一見華やかですが、10分ほどの放映のために裏では膨大な時間と努力を要求される厳しい仕事です。

みなさん、1～2年生の間に何か自分がしたいことを発見してください。部活やアルバイトを通じてでもいい

のです。3年生の頃からそれを徹底的に勉強してみることが、就職への近道になるはず。今すぐにそれがためにならなくても、将来は役にたつことがあるかもしれません。たとえば、ぼくは教育実習の指導書の書き方がテレビの報道シナリオの構成と同じであることに気づきました。ぼくは教育系出身だからこそ、気象予報士として人よりよい解説、わかりやすい伝えかたができるのだと思っています。大学生生活は長いようで短いですが、大いに楽しんで、大いに勉強もしていただければと思います。みなさんのご健闘をお祈りしています。

(ひらいのぶゆき 平成2年度A類社会卒業 / NHK気象予報士)

入学直後に知っておきたい三つのこと

● 宮下亮子



4月になると、大学は新入生を迎え初々しく浮き足立ちます。新入生の皆さんが新しい環境に慣れるにつれて落ち着いた雰囲気になってきますが、7月、試験期が近づくと、だいぶ大学になじんできたはずの1年生が図書館で再び右往左往する光景が毎年見られます。今年の新入生の方には、ぎりぎり慌てないために最低限知っておいてほしい三つのことをお知らせしておきたいと思います。

①開館時間は携帯でチェックしよう。：行ってみたら休館だった、というのは悲しいものです。平日は22時まで、土日17時まで開館していますが、開館時間は時期によって異なり、臨時休館もあるので、携帯版ホームページ (<http://library.u-gakugei.ac.jp/i/>) で最新情報を確認してから行くようにすれば安心です。授業の空き時間に、図書館で音楽を聴いたり新聞を読んだりして過ごすのもオススメです。

②ホームページは一周しておこう。：図書館のホームページはサービスの全体を見渡せるだけでなく、インターネット上にある有用な情報源への入口でもあるので、シラバスやWebメールシステムを公開している東京学芸大学のホームページとも併せて、一度目を通しておく

と、無駄な時間と手間をかけずにすむでしょう。図書館に頻りに訪れていても、有用なサービスを見落としている人もいます。

③図書館では調べ方のガイドをしています。：図書館の職員は貸出処理をするためだけにいるわけではありません。図書館の使い方からテーマに応じた情報の探し方まで、困ったときはカウンターにご相談ください。図書館で行っている各種講習会に参加しておけば、試験直前に途方に暮れることはないでしょう。

大学の図書館を活用できる力は、授業の単位をとるためや卒論を書くためだけでなく、卒業後も必ず役に立ちます。卒業後も学芸大の図書館を利用する方も多く、私も一緒に卒業した友人や先輩・後輩とぼったり顔を合わせることも少なくありません。大学でできることはたくさんありますので、今後の大学生活の中で図書館も存分に活用して、一生の財産となる多くのものを身につけていってください。

(みやした・りょうこ 平成13年度B類国語科卒業 / 附属図書館学術ポータル係)

新入生のための「図書館の達人への道」あざろく



1階の本をサービスカウンターで借りる
 学生証についているバーコードが図書館利用証となります。学生証をなくして再発行したら図書館にも手続きに来てください。



どう探したらいいのかわからないのでカウンターの人に相談する
 図書館のことでわからない事があたらサービスカウンターに来てください。

ちゃんと探したのに正しい位置に本がない
 館内で使った本は必ず元の位置に戻しましょう。借り出した本はサービスカウンターへ。

サービスカウンターが混んでいたのて本を自動貸出機で借りる
 自分で貸出手続きできます。



携帯電話に出て他の利用者から睨まれる
2コマ戻る
 館内は通話禁止です。



図書館が閉まっていたので本を入口横のブックポストに返却した
 閉館中でも返却できます。



本を返却し忘れ督促される
ふりだしへ戻る
 返却期限は守りましょう。OPACの「本人利用状況」から貸出状況照会ができます。

読みたい本を図書館においてもらうために、「学生購入希望図書」を申し込む
 附属図書館ホームページ*から申し込めます。

学芸大図書館にない本を読みに行き他大学の図書館へ行くための紹介状を発行してもらう
 他大学図書館の利用は、まずはサービスカウンターへ相談してください。

パソコンで学芸大OPAC*をひいてみる
 図書館のどこにどんな本があるか調べられます。

グループ発表の準備のため共同学習室を予約する
 3人以上3時間以内で利用できます。前日からサービスカウンターで予約できます。



雑誌はパソコンでも読めると教えてもらう
 紙のものだけでなく電子ジャーナルというものもあります。講習会もありますので附属図書館ホームページ*をチェックしてください。

学芸大図書館で持っていない雑誌の論文コピーを他大学へ依頼する
 附属図書館ホームページ*から申し込めます。

借りたい本が貸出中だったので予約する
 OPACの画面上から予約できます。

読み終わらなかったのて貸出延長手続きをする
 貸出期限内であれば1週間延長できます。

貸出禁止の本なので館内でコピーをとる
 著作権法というものがあるため、コピーをとる時は必ずコピー機のそばにある「文献複写申込書」に記入してください。

視聴覚資料棚のDVDを館内貸出手続きし、2階のブースで見る
 必ず館内貸出の手続きをサービスカウンターで受けてください。

閲覧席でジュースを飲み注意を受ける
1回休み
 館内は飲食禁止です。



書庫利用講習会を受ける
2コマ進む
 所定の時間に平日のみ毎日開催しています。予約はいりません。

*附属図書館ホームページURL <http://library.u-gakugei.ac.jp/>
 登録すればメールニュースの配信も受けられます。